

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう高木2組		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	視覚支援やゾーニングを活用した構造化環境づくりが徹底されており、学習室と運動室を使い分けるなど、子どもが見通しを持って過ごせる環境設定ができています。清掃・消毒も日常的に行われ、保護者からも「広々して気持ちよい」「清潔」と高評価を得ています。	支援開始前の申し送りや打合せで役割分担を決め、チームで支援できる体制を整えています。リード役・個別対応役などを明確にしています。	クールダウンスペース確保に向け、空間の使い方や環境調整をさらに工夫します。
2	個別支援計画の作成・共有・見直しが丁寧で、モニタリングやカンファレンスを通して保護者ニーズを反映した計画立案ができています。職員間の情報共有体制も整っており、計画に沿った支援が安定して提供されています。	活動プログラムが固定化しないよう、人数や特性に応じて内容や方法を工夫し、自己選択・自己決定を促す支援を取り入れています。	職員全体への情報発信や共有方法を改善し、連携の質を高めます。
3	保護者満足度が非常に高く、「安心して通える」「楽しみにしている」「専門的に関わってもらえる」との声が多く見られます。送迎時やコドモンを通じた丁寧な情報共有が信頼関係につながっています。	安全管理・防災対策・BCP・虐待防止研修などを定期的の実施し、リスク管理意識の高い運営ができています。	家族参加型イベントや地域交流の機会を計画的に増やします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウン専用室がなく、落ち着ける空間確保に課題があります。	施設構造上、個室確保が難しい面があります。	パーティション活用などで落ち着ける空間づくりを進めます。
2	支援終了後の振り返りが時間的制約により十分に行えない日があります。	送迎や業務時間の関係で振り返り時間確保が難しい日があります。	短時間でも共有できる仕組みを整えます。
3	家族支援や保護者同士の交流機会について、さらなる充実が求められています。	家族交流は日程調整や参加率の課題があります。	保護者参加行事や交流機会を増やします。